

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： バイムスピリット
会社名： 東亜薬品工業株式会社
住所： 東京都渋谷区笹塚 2-1-11
担当部門： 信頼性保証部
電話番号： 03 - 3375 - 0511
Fax 番号： 03 - 3375 - 0539
緊急連絡先： 03 - 3375 - 0511
SDS 番号： 04 - 19 - 03
SDS 作成日： 2016 年 6 月 9 日
SDS 改訂日： 2017 年 7 月 12 日

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性：	化薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分 3
	急性毒性（吸入）	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 1 A
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分 3
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分 3
	水生環境有害性（慢性）	区分外

【GHS ラベル要素】

絵表示またはシンボル



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

皮膚に接触すると有毒（経皮）
吸引すると生命に危険
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に有害

【注意書き】

【安全対策】

容器を密閉しておくこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸引した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢を取らせ休息させる。
皮膚(又は髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水・シャワーで洗うこと。
皮膚刺激がある場合は、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合、速やかに口をすすぐこと。無理して吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
漏出物は回収すること。

【保管】

容器を密閉して高温多湿を避け、施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

含有する名称	CAS 番号
プロピオン酸	79-09-4
乳酸	598-82-3
ブドウ糖	—
シソの葉エキス	—
乳酸菌	—

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所へ運び、呼吸しやすい姿勢で休息させること。速やかに医師に連絡し診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：付着した身体部位を大量の清浄な水と石鹸で洗浄すること。衣服、靴及び靴下等にかかっている場合は、直ちに脱がせ、皮膚を清浄な水で洗浄すること。速やかに医師に連絡し診察を受けること。
- 眼に入った場合：直ちに清浄な水で数分間注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。速やかに医師に連絡し診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。速やかに医師に連絡し診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤：泡、粉末、炭酸ガス又は乾燥砂類
- 特有の危険有害性：火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。54℃以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
- 特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を異動する。容器が熱に晒されているときは、移動させない。
- 消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項：漏出したもの及び洗浄水等が河川、下水及び地下等の環境へ影響を及ぼさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：
不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学廃棄物容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項： 換気の良い所で行い、ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。取り扱い後は良く手を洗うこと。皮膚と接触しないこと。目に入れないこと。

保管

- 保管条件： 容器を密閉して高温多湿を避け、施錠して保管すること。
安全な容器包装材料： 当該製品の容器に保存し、開封後は密封する。
-

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度： 設定されていない。
許容濃度： 設定されていない。
設備対策： 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その位置を明確に表示する。
作業場所には防爆タイプの全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

- 呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策： 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 形状： 液体。
色： わずかに着色した液体。
臭い： 特有なにおい（刺激臭）。
沸点、初留点及び沸騰範囲： 情報なし。
引火点： 情報なし。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限： 情報なし。
蒸気圧： 情報なし。
比重： 情報なし。
自然発火温度： 情報なし。
-

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性： 通常の状態では安定。
反応性： 情報なし。
危険有害反応の可能性： 中程度の強さの酸である。
避けるべき条件： 5 4℃以上。
混触危険物質： 塩基、強酸化剤、アミン。
危険有害な分解生成物： 水素。
-

11. 有害性情報

乳酸（乳酸 50%として）

急性毒性：

経口

マウス 4875 mg/kg。

ラット 3730 mg/kg。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性；皮膚

ウサギ 500 mg/24h sev。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

ウサギ 750 mg/24h sev。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

情報なし。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

情報なし。

吸引性呼吸器有害性

情報なし。

プロピオン酸（プロピオン酸 98%以上として）

急性毒性：

経口

ラット 2600 mg/kg。

経皮

皮膚に接触すると有毒。

ウサギ 496 mg/kg。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性；

重篤な皮膚の薬傷。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性；

重篤な眼の損傷。

呼吸器感作性又は皮膚感作性；

蒸気ラットに飽和蒸気（4650ppm）を8時間暴露し死亡が認められた。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

情報なし。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

情報なし。

吸引性呼吸器有害性

情報なし。

シソの葉エキス

急性毒性：

経口

情報なし。

経皮

情報なし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性；

情報なし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性；

情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性；

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

情報なし。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

情報なし。

吸引性呼吸器有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生体蓄積性：	情報なし。
残留性／分解性：	情報なし。
生態毒性：	水生環境有害性(急性)：水生生物に有害。
土壌中の移行性：	情報なし。
オゾン層への有害性：	情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	専門の廃棄物処理業者へ委託する。
汚染容器・包装：	自治体の条例や指導に従って処分及び廃棄を行う。河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染する恐れのある場所には捨てないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項：	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。直射日光を避ける。
-------	--

15. 適用法令

労働安全衛生法：	名称等を通知すべき危険物及び有害物。 プロピオン酸
毒物及び劇物取締法：	非該当。
消防法：	非該当。
化学物質管理促進法：	非該当。
船舶安全法：	非該当。
航空法：	非該当。
海洋汚染防止法：	非該当。
水質汚濁防止法：	非該当。
飼料安全法：	混合飼料。

16. その他の情報

記載内容の取扱い：

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づき作成されておりますが、全ての情報を網羅しているものではありません。また、新しい情報を入手した場合には、追加又は修正されることがあります。

注意事項は通常の手取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。特殊な条件下で使用する場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は安全な取扱いを確保するための情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。